きりすとこどもえん　5月園だより

２０１８年度　年主題〈イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で〉

1･2歳児５月主題「みる」

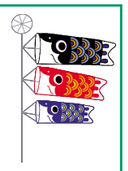
月のねがい

◎神さまがつくられた風や光を感じながら花や虫などを見る
◎新しい環境や生活リズムに慣れて、安心して過ごす
◎まわりの人に気づき、共に過ごすことを喜ぶ

3･4･5歳児５月主題　「動く」

月のねがい

◎聖書のお話をふれ、イエスさまに親しみを覚える
◎自分の好きな遊びや場所が見つかる
◎花や虫などを身近に感じ、心動かしたり、かかわろうとする
◎自分の気持ちを身近な人に気づいてもらって過ごす



今月の聖句

「なんと幸いなことでしょう。あなたの家に住む人たちは。」
詩篇 84:4

今月のキーワードはあなたの家「神の家」です。私たちの人生で常に考えるべきテーマです。「神の家」は創造主を信じる人、感じる人に備えられています。

まず、自然は神の家。人も動物も植物もすべて生きとし生けるものは自然の中で育まれています。自然は時に災害という形で試練を与えますが、それは人が自然の彼方に永遠の家（死後往生するところ）があり、そこに希望をつなぐことができるためです。

第２、神の家は信仰の家です。神を信じる信仰があれば、その人の生きる環境はすべて神の家です。神と交わり、天地創造の神を想い、恵みをもたらす神を想い、平和を願う神を想い、永遠のいのちを約束した神を想います。ここに心の平安があります。

第３、神がともにいて、すべての人、生物を守ってくださることを幼子のときから経験させることは身体の健全、知育とあわせて必要なことです。　　牧師・前理事長　池田公栄

あそんであそんで人間になる

正門の横で、小ぶりの鯉のぼりが春の風を飲み込み、元気よく泳いでいます。葉を落としていたセンダンも枝いっぱいに新緑の葉を繁らせ、バンマツリの花が色鮮やかに癒やしてくれます。

幼児期は一生のうちで最も多くのことを覚え、身につける時期でしょう。この時期に獲得される多くのことが、その後の行動の基本的な根っこになっていくと言われています。子どもがいろいろなことを体験し、身につけていく過程を「学習」と言いますが、幼児の学習の基本は、好奇心や関心による”遊び”によって獲得されます。遊びは、①子どもの好奇心や探索心に基づく自発的に行われるもの。②目的がない。③面白くて、楽しい。④現実の世界から切り離されている。⑤現実に直接に役立つという意識がない。と言われています。遊びの意義とは、①運動能力を高める。②興味や好奇心を高め、知的な発達を促進する。③イメージを広げ、表現力を豊かにする。④同年齢、あるいは異年齢の仲間関係を経験する。⑤さまざまな情緒的体験を持つ。⑥自発性、自主性を養うということです。

子どもにとって、遊びは生きることそのものです。「これは何だろう？」「もっと知りたい！」知的好奇心の刺激が将来の学びや社会へ向かう原動力となります。ただ無秩序に遊んでいるように見えても、子どもたちの脳はフル回転で、いつも楽しいことを探しています。夢中になって遊ぶ中で友だちとのトラブルや葛藤を体験し、挫折感や成功感を味わいます。遊びを考え、工夫し、試行し、協力し合います。自然溢れる空間、ゆったり流れる時間、そして感動を共感できる友だち、都市部では少なくなってしまったこの三間こそ遊びの大切な環境構成といえるでしょう。私たちもほどよい「遊び」心を持って子どもたちに接していきたいものです。

新年度を迎えて、あっという間のひと月が過ぎました。玄関や保育室で聞こえていた泣き声もほとんど納まり、少しずつ自分の居場所を見つけ始めた子どもたちです。新しい環境を観察しつつ、一日の流れや約束事を理解し始めて、周囲の子どもたちのことにも関心が向いてくるでしょう。それに伴い、自己主張の衝突も出てくるということになります。いつも仲良く遊んで欲しいと大人は願いますが、様々な心の葛藤や交流を経て、互いを認め合う関係になっていくのを見守ることも大切ですね。保護者の皆様が「泣いてもいいんだよ！」「いっぱいあそんでおいで！」と明るく送り出してくだされば幸いです。連休をご家族で楽しまれながら、どうぞ十分な休養もお願いしたいと思います。

学園長

5月の行事予定

7 日～ 15 日	家庭訪問（３才以上）
8 日（火）	交通安全教室
10 日（木）	弁当日
11 日（金）	誕生会（２才以上児４・５月生れ）
15 日（火）	尿検査（３才以上）
19 日（土）	親子遠足・父母会総会
23 日（水）	歯科検診（全園児）
30 日（水）	内科検診（３才以上）
31 日（木）	内科検診（０～２才児）

6月の行事予定

2 日（土）	家族の日参観（３才以上）
〃	弁当日
14 日（木）	給食試食会（のぞみ組）
21 日（木）	給食試食会（あい組）
26 日（火）	弁当日
28 日（木）	誕生会（2 才以上児 6･7 月生まれ）

ベビーマッサージ教室 ご案内

ベビーマッサージはお母さんとお子さんとの絆を育みます。赤ちゃんは狭く長い産道を一生懸命くぐって”誕生”しました。これからはお母さんとお父さんのにおいやお声が力強い頼りになります。また優しい導きとまなざしを受けて情緒が安定し感性豊かに育っていきます。愛情あふれる刺激があるほど脳は発育します。お母さんの優しい手と声（歌声等）で成長を促しましょう

＜１回目＞5月26日（土）　9:30～10:15
- ベビーマッサージの効果について
- ベビーマッサージ（仰向け姿勢で手足とおなか）

＜２回目＞6月23日（土）　9:30～10:15
- 仰向け姿勢の復習
- ベビーマッサージ（うつぶせ姿勢で手足と背中）

＜３回目＞7月7日（土）　9:30～10:15
- ベビーマッサージ（全身とお顔）

※対象月齢　生後3ヶ月以上
※単回の参加も大歓迎です。
※参加は申込必要（申込書は園にあります）

いっしょにあそぶということ･･･

5月の空に元気よく鯉のぼりがおよぎ、気持ちのいい季節となりました。新しく入園した子どもたちも少しずつ園生活にも慣れて、好きな遊びや歌で安心して過ごせるようになってきたところです。

園庭にあげられた鯉のぼりを見上げながら，毎日のように園庭で元気に遊ぶ子どもたち。ある朝、その園庭にダンボールを持ち出してきて遊び始めました。創造力の豊かな年長児たちはすぐさま、「これ、ベットにしよう！」「ここはハサミで切ってドアを作ろう！」･･･と口々に言いながら、切ったり貼ったりして、あっという間にダンボールの家が出来上がりそうになりました。それを面白そうに見ていたのは2～4才の子どもたち！すぐさまその家に入ってきて、ダンボールの家は満杯状態。それだけだったらまだいいのですが、あっちがつぶれ、こっちが破けて･･･。完成を前にめちゃくちゃにされて、悔しいのは年長児たち。怒り心頭で、泣きながら「だめだよ～！壊れちゃうよ～」と訴えても中々伝わりません。そうこうしている間に片付けの時間が来てしまい、結局は続きを明日にすることにして一旦は片付けることに。先生に「こども園はみんなが遊ぶところだからね。小さいおともだちもきっと遊びたかったんだよ!」と諭されていましたが、そんなこと言われても気持ちは収まらないだろうなと、揺れる年長児の気持ちも思い複雑でした。

さて翌朝。園庭には昨日片付けたダンボールが出されて続きが始まりました。今日の年長児の面々、作りながら「今作っているから待っててね！」と、年下の子どもたちに伝えていました。4才のKは「わかった！」と即答。何とスムーズなんでしょう！これには先生たちの方がビックリです！昨日があってこそ、遊びのルールを学ぶことが出来たのだと思った瞬間でした。ケンカもしながら、自分の感情と、友だちの気持ちをも考えて行動しようとしている子どもたちに嬉しく思いました。　　園長

キッズヨガのすすめ

ヨガには「つなぐ」「むすぶ」「一体になる」という意味があります。
心と体、親と子･･･。キッズヨガは親子の心をつなぎ、心身共に健やかな成長を促します。たくさんの愛情と五感の刺激は脳の発達を促します。こうして乳幼児期に築いた親子の心の絆は一生続きます。

＜１回目＞5月26日（土）
- ウォーミングアップ　・お母さんと一緒

＜２回目＞6月23日（土）
- ウォーミングアップ　・動物のポーズ

＜３回目＞7月7日（土）
- ウォーミングアップ　・自然のポーズ

動きやすい服装でご参加ください。
持ち物：大判タオル、飲み物
お着替え

※対象年齢　2歳以上
※単回の参加も大歓迎です。
※参加は申込必要（申込書は園にあります）